



● 認知症の人と家族の会へのご入会について

認知症の人と家族の会に入会いただき、あなたの不安を解消するとともに、活動にご協力ください。認知症の人、介護者、支援者、認知症に関心のある人など、どなたでも入会いただけます。
また、認知症の人や介護者への支援をご検討の方は、賛助会員の入会をお願いします(中面右下をご参照ください)。

入会の方法

認知症の人と家族の会のホームページから入会を申し込みいただけます。
年会費はクレジットカード払いまたは郵便局から送金してください。



●正会員個人:年会費5,000円

●賛助会員:年会費1口10,000円

※正会員個人、賛助会員ともにクレジット払いの場合、継続払いが可能です。

入会特典

- 会報「ぼ～れば～れ」(毎月郵送します)
- 「認知症と向きあうあなたへ」(冊子)
- 当会主催の認知症の講座・研修会や書籍の会員価格
- alun-alun(会員同士のFacebook交流グループ)
- 会報「ぼ～れば～れ」のWeb閲覧(てとてなび)

認知症と向き合うあなたへ
てとてなび



● 認知症の人と家族の会へのご寄付のお願い

認知症の人と家族の会の活動は、会費収入だけではなく、企業や団体、そして多くの個人の皆さまからのご寄付によって支えられています。

皆さまそれぞれに合った形でのご支援を、心よりお願いいたします。

当会に寄付をいただいた方は税制上の優遇措置の対象となります。

遺贈

大切な財産を認知症の人と家族の会の活動に活かし、未来へつなぐ「遺贈による寄付」を受け付けています。

あなたの思いを、次世代につなげるご支援としてご検討ください。

マンスリーサポーター

マンスリーサポーター(※)として活動を応援していただける方を募集しています。毎月1口500円から寄付いただけます。

※マンスリーサポーター:社会貢献活動に対し、毎月一定額を継続的に寄付する支援者



寄付



遺贈



マンスリーサポーター

公益社団法人認知症の人と家族の会

月～金 9時～17時(祝日を除く)

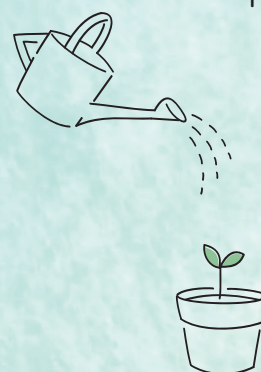
〒602-8222 京都市上京区晴明町 811-3 岡部ビル 2F

TEL:050-5358-6580 FAX:075-205-5104 Email: office@alzheimers.or.jp

ホームページ: <https://www.alzheimer.or.jp/>

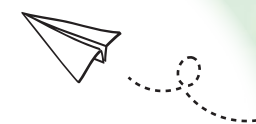


支部名



認知症の人や家族のあなたへ

あなたの **思い** を聴く人が ここにいます



「同じことを何度も話していると言われて認知症かもと悩んでいる」
「家族が認知症と診断され、この先どうしたらいいのかわからない不安」など、
同じ悩みをもつ人同士がつながっています。

また、仲間に出会い認知症とともに歩む人たちがいます。

経験したからこそわかる人たちが、あなたの気持ちを聴きます。



仲間が受け止めてくれた

私はヘルパーとして長年仕事をしていましたが、夫が認知症の診断を受けたときは動揺しました。認知症の人と家族の会の仲間が話を聴いてくれて、私の混乱を受け止めてくれました。今までの経験と仲間が私の大きな力、そして支えです。

(大阪府 松南真佐子さん・介護家族)



周りの人に 助けを求めてください

認知症と診断された当事者も家族も診断後早めに仲間と出会うことが大切です。私も診断後、笑顔で明るい当事者との出会いにより不安が軽減されて前向きになりました。診断されたからといって次の日から何も変わりません。家族だけで支えず、周りの人達に助けを求めてほしいと思います。

(宮城県 丹野智文さん・認知症本人)



介護のヒントをもらった

義母が認知症と診断された時、「わかってくれる人と話したい」と思い、参加した「介護者のつどい」で悩みや不安を話し、介護のヒントを得ました。「『よかったね』は魔法の言葉」の助言を実践し、義母は落ちついた生活を送ることができました。

(茨城県 牧野優子さん・看取り)



こころの居場所として

身近な人にも話せない思いがあります。経験したからこそ、その葛藤がわかる人たちがいます。そんな人たちのこころのふれあう居場所として「つどい」があります。思いを語った後の笑顔がうれしくて、30年以上にわたって支えてきました。

(山形県 五十嵐元徳さん・支援者)

ここにはあなたの仲間がいます

認知症の人と家族の会
川井 元晴代表理事 和田 誠代表理事

認知症は恥ずかしいことも隠さなくてはいけないこともなく、だれでもなりうる病気です。どうしていいかわからない、周りに相談できる人がいない、と悩んでいませんか？ここには認知症と向き合ってきた仲間がいます。同じ体験をした先輩がいます。少し話をしてみませんか。認知症の人と家族の会は、認知症になったとしても介護する側になったとしても安心して暮らせる社会の実現を目指して、ずっと活動してきました。あなたの力になれると思いますし、私たちもあなたから元気をもらえます。お住まいの地域の支部に相談してみませんか。



認知症の人と家族の会とは

認知症の人や介護者への支援のために、活動の三本柱(つどい・会報発行・電話相談)を中心に活動をしています。

つどい

認知症の人や介護者同士が集まり悩みや気持ちを話し合い、気持ちの交流ができる場です。参集やオンラインで開催しています。



会報発行

認知症に関する情報などを掲載した会報を毎月発行しています。全支部でも会報を発行しています。

電話相談

本部ではフリーダイヤルで全国からの相談を受けています。また、全支部でも認知症の電話相談を実施しています。

〈認知症の電話相談〉
月～金 10時～15時(祝日除く)
☎ 0120-294-456(通話無料)
〈携帯〉050-5358-6578(通話有料)
LINE電話は友だち登録で無料 〈協力〉住友生命



支援活動・社会的な活動

認知症の人と家族の会は、1980年に認知症の人を介護する家族によって設立しました。当時は介護保険制度もなく支援もない時代で、認知症の人の介護は家族が一身に受けており、気が休まることはありませんでした。そのため、「介護の社会化」を国に要望してきました。現在でも介護保険制度や人権擁護などについてアピールし、要望書を提出するなど社会的な活動を行うとともに、啓発活動、調査研究、国際交流、情報発信など、さまざまな活動をしています。

- 介護保険制度など施策の充実を求める活動
- 海外の関係機関との連携・協力をする活動
- 認知症の調査・分析、学会等への発表
- 講演会や啓発イベントの開催
- 専門職などを対象に研修会や講義
- 書籍、冊子の発行
- ホームページ、SNS(Facebook、X、LINE、Instagram、メールマガジン)での発信
- 認知症イベント情報発信「てとてなび」



安心できる介護保険制度を求める署名を提出

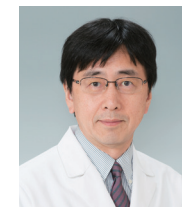


世界アルツハイマーデー啓発

仲間を見つけ認知症とともに歩む道を

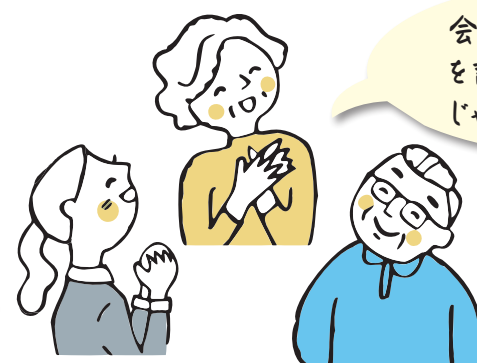
もの忘れ外来を担当する医師として多くの認知症の人やそのご家族と接してきました。診察室での限られた時間の中ではそれぞれの方の声を十分に聴くことが難しかったり、説明しきれないことがたくさんあったりします。それと、何よりも、同じ立場の人同士で情報交換をしたり、気持ちの上で支えあったりしたいという話を聞くことも多いです。認知症の人と家族の会の各種の催しや月刊の会報である「ぽ〜れぽ〜れ」はとても大事な交流の場であり、情報源だと思います。認知症という病気は理解が難しく、個人個人で乗り越えていくのは容易ではありません。ぜひ、仲間を見つけ、少しでも上手に認知症とともに歩む道を過ごしていただければと思います。

また、医師や看護師、ケアマネジャーなど専門職にとっても、認知症の人や家族の率直な声を聴く大事な機会にもなります。私も20年以上会員です。専門職の方もぜひ入会いただければと思います。



武地 一
(藤田医科大学病院 医師)

電話相談で
介護のアドバイスをもらい参考になった



会報の「会員さんからの便利」を読んで、苦しいのは私だけじゃないと思った

つどいで同じ病気や悩みを持つ人と交流して前向きになれた

認知症の人と家族の会への応援をお願いします 【賛助会員】

全支部で「認知症になっても、介護する立場になっても、安心して暮らせる社会」の理念をもとに、認知症の人や介護者が孤立することなく、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会を目指して活動をしています。

組織としては、認知症の人や家族、専門職、ボランティアや認知症に関心のある人が「会員」として入会いただいています(会員数9,107名[2024年度])。

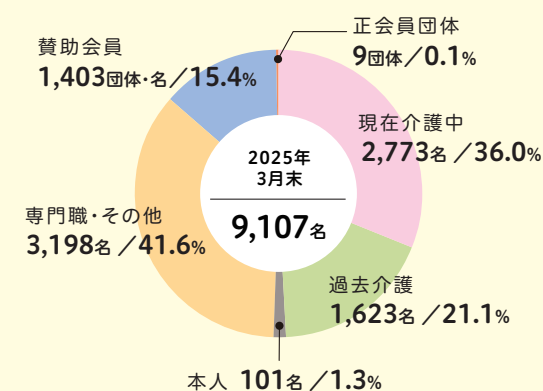
また、認知症の人や介護者、当会のピアサポート活動や社会的活動へ支援をいただく、「賛助会員」として企業・団体・個人の方にご入会いただいています(1,403団体・名[2024年度])。

賛助会員は、当事者(認知症の人とその家族)が安心して暮らせるための支援者として大変心強い存在です。

当会の活動をご理解いただき、共に歩んでいただく賛助会員へご入会ください。

ぜひ、あなたの応援をお願いいたします。

会員の状況



入会方法は次ページ